



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2017年
 4月号
 (第9号)

今月の聖句

「そして、天を仰いで深く息をつき、その人に向かって「エッファタ」と言われた。これは「開け」という意味である。」

(マルコによる福音書7章34節)

今月の強調テーマ:LT (リーダーシップトレーニング)

2016~2017年度 主題

クラブ会長 石田孝次「友情と地固め」

東新部部長 細川 剛(東京)「今チャレンジ、明日に向かってワクワク東新部」
 東日本区理事 利根川恵子(川越)「明日に向かって、今日動こう」
 アジア太平洋地域会長 Tung Ming Hsiao(台湾)「ワイズ運動を尊重しよう」
 国際会長 Joan Wilson(カナダ)「私たちの未来は、今日より始まる」

《クラブ役員》会長 石田孝次 副会長 綿引康司/伊藤幾夫
 書記 田中博之 会計 深尾香子 担当主事 小野 実

4月例会プログラム

日時: 4月4日(火) 18:30~20:30

会場: ベルブ永山3階講座室

司会: 田中博之

受付: 深尾香子

- *開会点鐘 石田孝次会長
- *ワイズソング 一同
- *今月の聖句・祈祷 井上富子
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *夕食
- *メンバースピーチ 井上富子
 「日本聾(ろう)話学校について」
- *ワンポイントワイズ・「LT」伊藤幾夫
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *YMCA ニュース・連絡等
- *スマイル献金
- *YMCA の歌 一同
- *閉会点鐘 会長

「日本聾(ろう)話学校について」



私は、1996年東京コスモスクラブのチャーターメンバーとして、初めてワイズメンズクラブに入会させていただき、そして、多摩センター地域のクラブ設立準備を機に、東京多摩みなみクラブに移籍させていただきました。

このたびは、私が45年間勤めました日本聾話学校について、お話をさせていただきます。

日本で唯一の私立の聾学校、ライシャワー・クレマ学園・日本聾話学校に私は教員として勤務しました。日本聾話学校は元駐日大使エドウィン・ライシャワー氏のご両親カール・ライシャワー博士夫妻によって、1920年に開校されました。現在の町田市野津田には1968年に移転されました。手話によらず、残された聴力を活かす聴覚主導の教育を貫いています。今回のスピーチでは、日本聾話学校の様子を、DVDをお見せしながらお話をさせていただきます。日本で唯一の私立の聾学校ということもあり、充実した教育環境を維持することは、財政的にもたいへん厳しい状況にあるため、この志をご理解いただいて、個人をはじめ、教会、キリスト教主義学校、一般事業会社、外国からの募金等々をお願いしています。また、ライシャワー・クレマ学園では、親子が別れて話し合う時間帯に、乳幼児のお世話をしてくださるボランティアが必要とされています。以前には、まちだクラブとコスモスクラブのメネットさんがボランティアとしてお手伝いしてくださり感謝でした。(井上富子)

Congratulations!

4月のHappy Birthday/Happy Anniversary

<誕生日>

安藤慎次(18日)

メネット藤田恵美(8日)、小早川るみ子(15日)

<結婚記念日>

伊藤幾夫(27日)

3月例会	在籍14名 例会出席13名	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			10名	0名	切手 0g (累計 731g)	現金(含書損/カギ等換金分) 0円 (累計 28,000円)	オーグゾン 0円	(累計 32,750円)
			出席率 71%	メネット 1名			スマイル 7,424円	
			ゲスト・ビジター2名				(累計 59,860円)	

3月例会報告

例会の司会は滝口さん。聖句/お祈りは綿引さん。冒頭の会長挨拶では「東日本区次期クラブ会長・部役員研修会」の報告が行われました。メンバースピーチは伊藤さんによる「ものの見方、考え方」。同じ画像を見ても見方によって見えるものが違うことが、具体例を用いて説明されました。米国1ドル札に隠された秘密も。



今月は「メネット」の強調月間であり、田中メネットから、各クラブや東日本区としてのメネットの活動状況が報告されました。

残念ながら、予定されていた東京 YMCA にほんご学院の学生のスピーチは本人の都合がつかずキャンセルとなりました。(田中記)

《出席者》13名:「メンバー」:安藤、石田、伊藤、小野、小早川、真藤、滝口、田中、深尾、綿引
「メネット」:田中、「ビジター」:佐藤、谷治

3月役員会報告

3月21日(火)、18:00から、ベルブ永山にて開催されました。今回の役員会は「部長公式訪問」で、東新部役員の方々も出席され、また、甲府クラブの仙洞田さんにお越しいただき、同クラブが行われている「ワイズ農園」のお話をおいただき、これからの私たちの活動に大変参考となりました。(田中記)



《出席者》12名:「メンバー」:石田、伊藤、小早川、真藤、滝口、田中、綿引
「ビジター」:太田、佐藤、進藤、仙洞田、細川

これからの予定

- ・4/4(火)4月例会(ベルブ永山)
- ・4/18(火)4月第2例会(役員会)(ベルブ永山)
- ・4/22(土)第3回評議会・次期クラブ役員研修会(東京 YMCA 東陽町センター)
- ・4/29(土)ペタペタの会(羽村・拝島方面)

“揚がれ！希望の凧”参加

3月12日(日)14時から、町田市玉川学園子ども広場において、東日本大震災復興支援“揚がれ！希望の凧2017”のイベントが行われ、当クラブも参加いたしました。東日本大震災から6年が経ちましたが、「私たちは被災地の方々のことを忘れていません！」という思いを“希望の凧”に託しました。好天に恵まれ、気温も13度前後、風もほどほどに吹き、よい凧揚げ日和となりました。このイベントは、全国のYMCAやワイズメンズクラブのメンバーが、東日本大震災の起こった14時46分頃をめぐりに“希望の凧”を各地で一斉に揚げ、天空を通して被災地の方々への支援の思いを繋げようという企画であり、町田では町田YMCAに連なる仲間が、3.11の翌年2012年から毎年実施しています。

今回の参加者は35名で、東日本大震災復興支援募金に5,260円が寄せられました。東京YMCAを通して、被災地に届けられます。

当クラブからの参加者:石田、深尾、伊藤(伊藤記)



次期クラブ会長・役員研修会に参加して

3月3日、4日に日本YMCA同盟・東山荘で開催された東日本区の次期クラブ会長・部役員の研修会に、伊藤次期部長、田中同書記と共に参加させていただきました。総勢100名を超える参加者で、大変有意義な研修会でした。ワイズメンズクラブの区・部・クラブの組織上の位置付けと運営の仕組み、各役職者の役割、東日本区の重点課題など次年度に向け組織全体を俯瞰した計画、方針が示され認識を新たにしました。また、研修会の席上で配布された資料の「クラブ運営マニュアル」(ワイズQ&A)は、ワイズを知る上でまさにバイブル的な意味合いを持つ資料になると感じ、直後に開かれた3月例会にてメンバー全員に再配布いたしました。ワイズ歴の少ない者が多い当クラブにおいてこのような道標の存在は、ワイズ活動への理解を深め、組織の拡大を目指しながら地域に根付いたボランティア活動を展開して行く上で重要なツールとなるものです。基本に学ぶという真摯な姿勢が求められると思います。それを知ることができ、とてもいい機会になりました。

(石田記)

連絡先: 〒192-0023 八王子市久保山町1-9-3-807 田中博之 (携帯) 090-9823-6387

例会日: **本例会** 第1火曜日 18:30~20:30 会場:ベルブ永山 3階講座室 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

役員会(第2例会) 第3火曜日 18:30~20:30 会場:ベルブ永山 3階講座室 ※4月から会場が変更となりました
会費送金口座:多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ会計 深尾香子